

## 団塊世代消費研究会2014のご紹介

－2025年、激変する日本社会とシニア消費を見通す！－



2014年10月29日

株式会社三菱総合研究所

事業予測情報センター  
高橋寿夫

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

mif 生活者市場  
予測システム

## 資料構成

- mif、MROCとは何か
- 取り組みの難しいシニア市場
- 団塊世代の消費について
- 2025年団塊世代の生活はどうか？
- 団塊世代消費研究会2014のご紹介

## mif、MROCとは何か？

## mifとは……

- 生活者の「変化」を多角的に捉える
- 「定量」「定性」データベースからなるハイブリッドなリサーチシステム

定量データ  
国内最大規模の  
アンケート  
パネル



定性データ  
国内初の  
常設型MROC  
パネル

「変化」を「チャンス」に変える  
探索範囲を広げる「海図」と「コンパス」

## 国内最大規模のアンケートパネルmif

### ■ 国内最大規模のアンケートパネルmif

- 20～69歳の生活者30,000人 2,000問
- 2011年6月より年1回の定点調査(Web調査)
- インターネットで自由にアクセス
- 使いやすいWeb集計システム
- いつでも追加調査が安価に可能

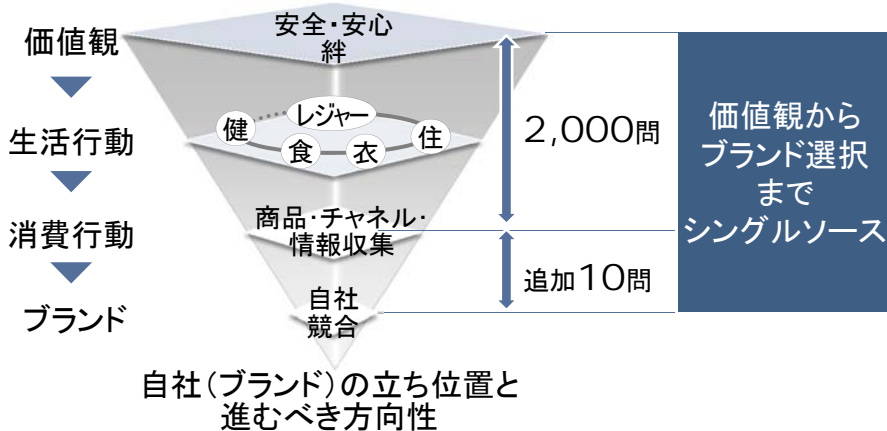
### ■ 50～80歳代までのシニア15,000人対象のmifプラチナ

- 2012年6月より年1回の定点調査(Web調査)



## バリュープラスWeb調査

### ■ 自社ブランドの課題解決



## リアルな生活実態・本音を捉えるMROC



MROC: Marketing Research Online Communities  
次世代リサーチ・プラットフォーム

## MROCの7つの効果

- |                                |                                  |
|--------------------------------|----------------------------------|
| ネットコミュニティ                      | ① 地理的・時間的制約がない<br>(生活者サイド／企業サイド) |
| 常設コミュニティ<br>(長期)               | ② データ蓄積によるペルソナ形成                 |
|                                | ③ エンゲージメントの活用                    |
|                                | ④ 態度変容の把握                        |
|                                | ⑤ 自在なりサーチ設計                      |
|                                | ⑥ コ・クリエーション(協創)                  |
| コミュニケーション<br>ツール<br>(写真アップロード) | ⑦ 簡易かつリアルなエスノグラフィー               |

## MROCサービスの特徴

### ■ 常設型コミュニティを開催

コミュニティマネジャー／コンサルタント

国内初の常設MROCパネル  
2大成長市場をカバー

女性200名  
総発言数  
19万件

ご要望に応じ  
専用MROC  
パネル

シニア300名  
総発言数  
22万件



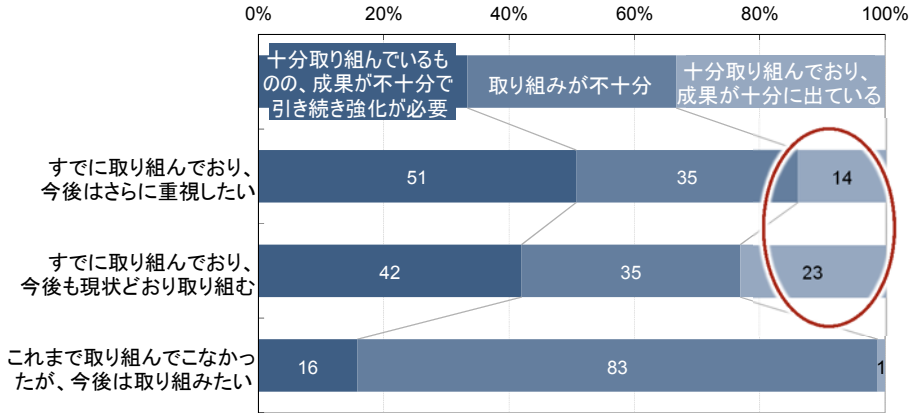
国内最新鋭のMROCプラットフォーム  
(特許出願中)

取り組みの難しい  
シニア市場

## シニア市場の成果に対する評価

### ■ 成果が十分に出ている企業は少ない

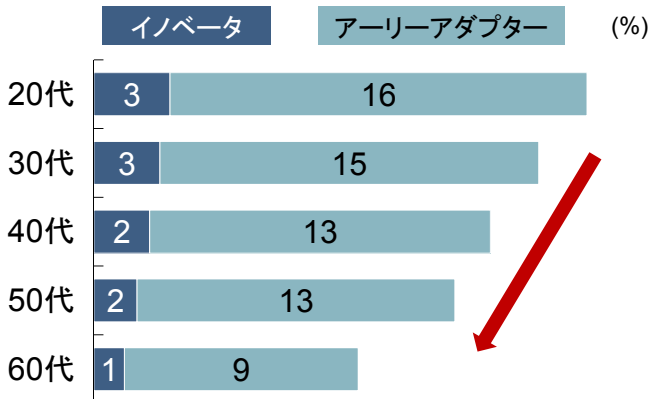
シニア市場の成果に対する評価



出所：シニア市場取り組みに関するアンケート(2013年10月)  
マーケティング・経営企画担当の課長職以上を対象に1000票回収

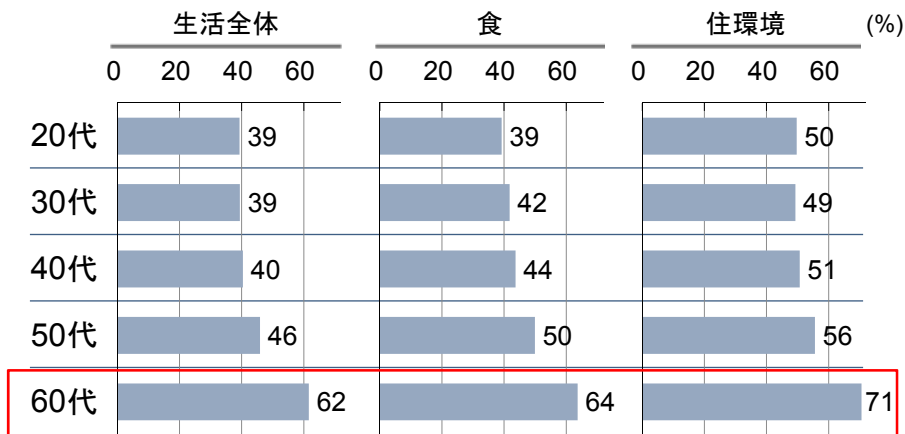
## イノベータの少なさ

### ■ 新しい製品・サービスが普及しない



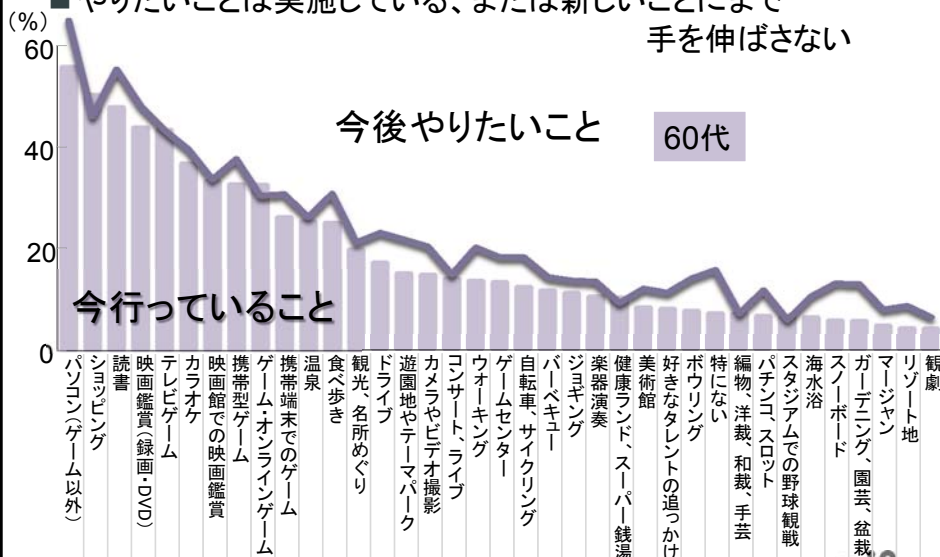
## 高い生活満足度

■ 生活満足度は高く、満足度を高める消費は期待薄



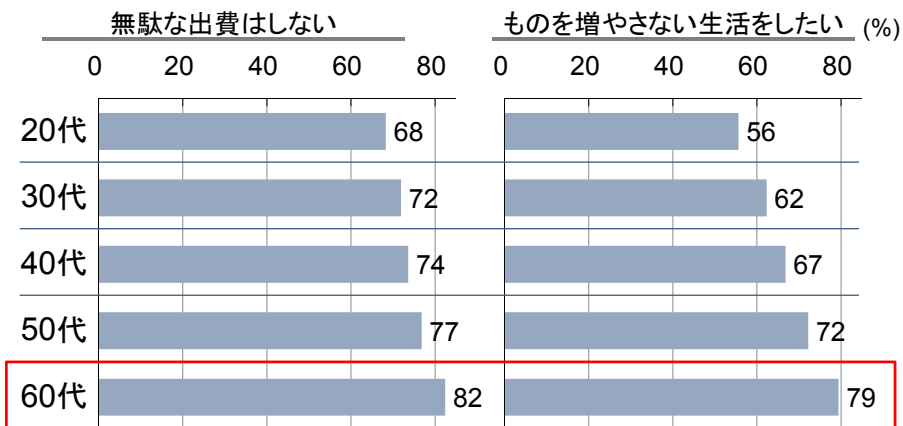
## 少ない“潜在需要”

■ やりたいことは実施している、または新しいことにまで  
手を伸ばさない



## 安易に買わない、モノを増やさない

- 年齢とともに、財布の紐は固くなる、モノを買わない



注: TOP2合計

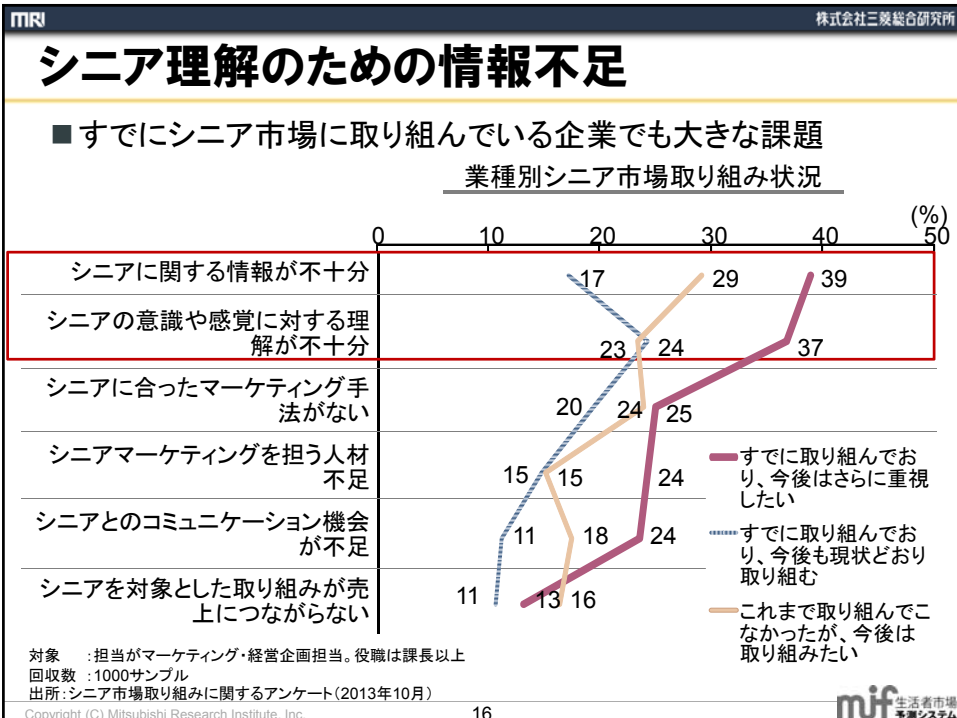
## ニーズの多様化(1)～結婚、子供の有無

- 多様化する価値観、価値観を反映するニーズの把握が困難
- 多くの人が一致するニーズを探るのが困難

|                   | 婚姻状態 |      |     | 子供の有無 (%) |     |     |
|-------------------|------|------|-----|-----------|-----|-----|
|                   | 既婚   | 未・離婚 | 差   | いる        | いない | 差   |
| <b>男性</b>         |      |      |     |           |     |     |
| 安全・安心なところに住みたい    | 91   | 87   | +4  | 88        | 69  | +19 |
| <b>女性</b>         |      |      |     |           |     |     |
| 近所の人とのふれあいを大切にしたい | 64   | 54   | +10 | 90        | 75  | +15 |

注: 60代TOP2合計





MRI 株式会社三菱総合研究所

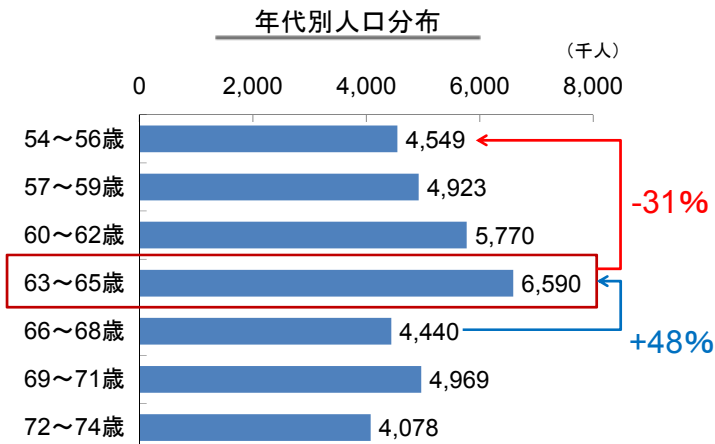
# 団塊世代の消費について

## 団塊世代消費研究会2013の概要

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc. 17 mif 生活者市場 予測システム

## 団塊世代のボリューム感

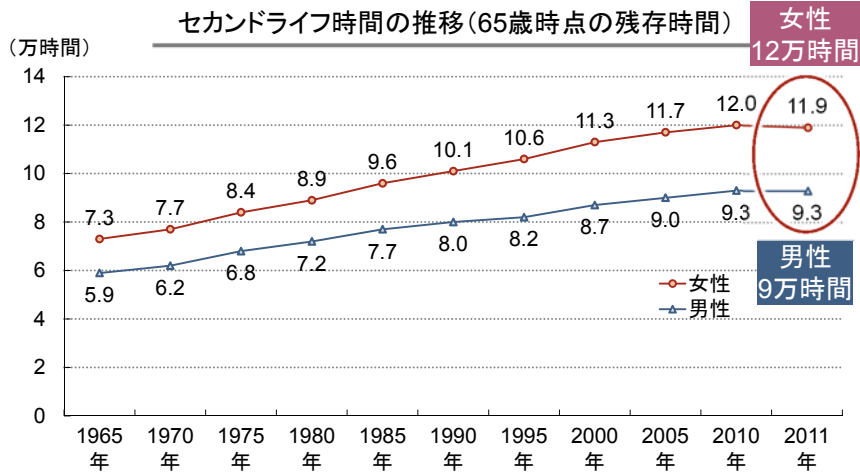
■ 前世代よりも50%程度拡大、10年後には30%減少



出所: 総務省統計局平成24年10月

## 本格リタイアを迎えた団塊世代

■ セカンドライフ10万時間時代の到来



出所: 高齢者(65歳以上)の平均的な行動時間(睡眠・食事以外時間)を総務省「2011年社会生活基本調査」から整理(男性: 13.6時間/日 女性13.8時間/日)。65歳時点余命に乗じて試算。

## アンコールライフ消費にビジネスチャンス

### ■ アンコールライフとは……

- セカンドライフを余生として楽しむのではなく
- 新たに学んだり、社会に貢献したり、趣味を極めるなどして
- 積極的にチャレンジしていくライフスタイル

### ■ 舞台になぞらえると……

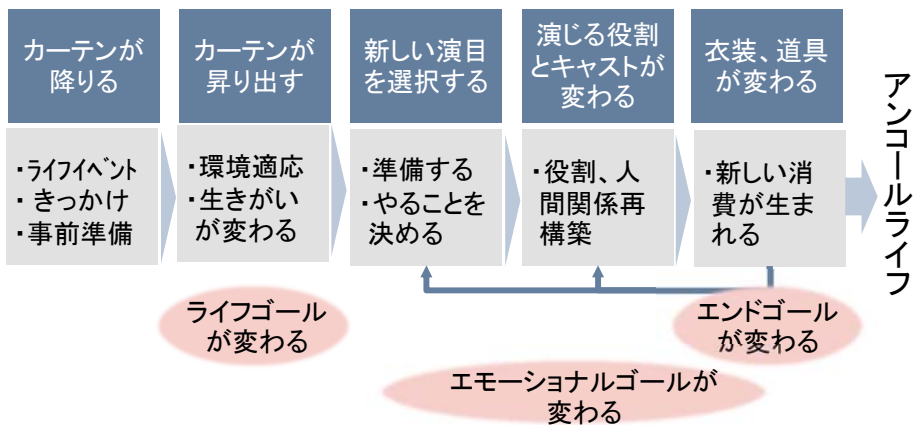
- 再びスポットライトを浴び、
  - 新しい演目を
  - 新しい舞台で
  - 生涯、演じ続けることで
- 拍手・喝采が鳴りやまない人生



→今後10年で30兆円産業に成長

## アンコールライフ市場攻略の決め手を探る

- mifの様々なデータを用いて、アラウンド団塊のアンコールライフから生じる消費機会を分析



# 性別の違いによる消費の違い

生きてきた証を残すために、  
そこそこでは物足りない

このあとこれからの70歳代のチャレンジは… **自分が生きてきた証になるなかをこの世に残りたいと漠然と考えてます**が、…はてなんなのかな？ それを探したことが今の私の課題です。(男性、70代、既婚、仕事から引退している(定年退職を含む))

昔の仲間との付き合いも復活し、**山岳時代の悪友たちとの秘境旅行もまた楽しめるようになりました**。これは一回当たり30万円から50万円かかります(男性、70代、既婚、仕事から引退している(定年退職を含む))

遠く大学の非常勤講師のポストに就くことが出来て、今までの専門知識を活かした授業を10年間行うことができた。それに平反して**地元で市民を対象にしたエネルギーと地球環境の講演を行ってきた**。(男性、70代、既婚、仕事から引退している(定年退職を含む))

これからは大変な家事を一生懸命やりながら、主夫としての責務を果しつつ、**海外旅行や全国街道歩き(目標日本一周)を心挂**て有る内に目標を持ちながら、残りの人生を楽しみたいと思っ  
今日この頃です。(男性、60代、既婚、仕事から引退している(定年退職を含む))

登山では、白馬岳に登り日本海側の観不知下ることや八幡平から秋田駒ヶ岳まで避難小屋泊りで歩くなどです。**歩き道路もやりましたし、今年は東北夏祭り**を巡る旅でしたが、毎年1週間ぐらいの自分で手配した旅行をしています。(男性、60代、既婚、仕事をしている)

フットワーク軽く、広げて、極めて、  
食欲に楽しむ

パッチワークキルトを始めて、早13年が過ぎようとしてます。**今年の5月に、4回目の作品展を行いました**。3年を目標に作品作り頑張ってます。

**今の私の生き甲斐もなってます**。  
月2回、1時間半掛けて、北広島市へ習いに行ってます。(女性、70代、既婚、専業主婦・主夫)

毎月1回、幹事持ち回りで日帰りの撮影旅行に行きます。その他、**気の合った仲間数人で日帰りの撮影に行きます**。車や、電車、バスで行きます。(女性、70代、既婚、専業主婦・主夫)

市主催の「生涯講座」を受講し**毎年違うテーマで年間勉強しました**。書道、切り絵、介護、水彩画、写真等々。ボランティアでは史跡散策の方に力を入れ京都、奈良の見学には**責任者として活躍しています**。(女性、70代、既婚、仕事をしていない)

3年間、バッグ作り教室に通いました。そのときできた友人と今も交流をしていて、**一年に一度、バッグの展示即売会をしています**。**この四月からは、ハーブ教室に通い始めました**。(女性、60代、既婚、仕事から引退している(定年退職を含む))

長い間休んでいたパソコンサポートのボランティアや趣味で楽しんでいる社交ダンスを再開します。**早速にサークルのクリスマスダンスパーティがロイヤルオークで開催されるのに出席の返事をしました**。(女性、60代、既婚、専業主婦・主夫)



男性

プラチナ世代コミュニティ  
(50歳以上の男女計300名)

女性

# 団塊世代のアンコールライフ消費

キーインサイト: 自分のための消費

男性の発言  
女性の発言

量より質

今までは質より値段・数でしたがこれからは年齢的にも質をと諦げずかしくない物を着たいと思っています。

日用品は前はチラシを見て安いものを探したりしてましたが機能的にいいとか質がいい物を買うようになりました。

モノを買うときには、品質の良いものを求めます。

旬のものを、少し高くても、買って食べよう、と思うようになりました。好きな果物も、惜しまず、食べようと思います。

これまでは、食べるものや着るものも「質より量」でしたが、ここ最近では「量より質」を追求するようになったと思います。例えば、食べるものも量は多くなくても美味しく安全なものを。

安がる悪者では困ります。無駄遣いにならないよう選ぶときはより慎重に選びたいと思います。

最近は機能的に重点を置いて選んでいます。

メリハリ

全部が節約ではなく、たまにおいしいお酒を買ったり少し高いワインで楽しんだりしています。

極力節約出来るところはしていないと思ってます。でも、余りギスギスした生活では精神的にも良くないので、楽しいお付き合いには出来るだけ参加して、今後のセカンドライフを生き生きと過ごしたいです。

春と秋に1回ずつ大阪シンフォニーホールに行きました。来年はもう少し多く行きたいと思っています。周りに宣言したのです。「食べ物、光熱費等節約しても行くよ!」

これからは、数年に一度だけ友人や山仲間との交流が増えそう。交通費や旅館代、外食費などがかさばらうと今、節約に動いています。

月に一回は少しだけ贅沢なレストランで食事

現代時代は気に入ったスーツ、コート、セーター、シャツ類をどんどん買っていました。今はよほど気に入ったものでコストパフォーマンスのいいものしか買わなくなりました。

結構消費しましたが、ほかのことは徹底的に節約また節約で、しのいでいます。

こだわり

いわゆるおばちゃんの服は着ない方です!!

普段着はともかく改まった装いをする時は上質なものをさりげなく身に着けるのがお洒落だと思っています

靴は上質なものを履き続けたいと思っています

健康を気にする年齢になり新鮮でこだわった食材を物色しています

河川湖に山荘があります。そこに薪ストーブを入れました。薪ストーブの周りは、耐火性を高めるため木の壁との間に空気層を設け50mm程の耐火ボードを張ります。そこに陶芸家に描いて頂いたタイルを貼り終わりました。雪が15cm積もり、寒くなってきたのでストーブを炊いて火を見ながら酒を飲むのがなんとも言えず、極楽です。

自転車のロードバイクはヨーロッパ製(イタリアのフレーム・ドイツの超軽量ハブなど)。マウンテンバイクは、USAのトレックです。ダウンヒルはサタウルス・コーナーなど。

一番最近に購入したのがプロジェクター。80インチのスクリーンも6畳間ですが、見事映画館に変わりました。

着るものも高くても自分の趣味に合ったトラディショナルなものをというように微妙に変化していると思います。

唯一のこだわりは国産品愛用ということで、今後もこの姿勢だけは貫くつもりです。

エディバウアーとかランズエンド、三井アウトレットなどで自分なりにこだわりをもって楽しむようになりました。

日本酒は上撰や純米酒、地酒など、焼酎は三岳、赤霧島などレアものが中心です。香り、うま味とコクにこだわっています。

旅生のおいしいものや地酒などを楽しみながらゆくり回る旅が好きなので、時間に追いかけるバック旅行は避けています。自分で航空機・列車のチケットや宿の予約をしています。

ですが、これも楽しみの中のひとつとなっています。

# スーパーペルソナの作成

7.2%



岡崎 浩二 66歳

性別: 男性  
居住地: 東京都  
家族構成: 妻、長女(35歳)、  
長男(31歳)  
年収: 500万円～1000万円未満  
貯蓄: 1000万円～2000万円未満

## 経済的資源

## ライフゴール

- ・妻と静かに過ごしたい
- ・迷惑にならないように健康でありたい

## 心の拠り所は妻。言うなれば「愛」といったところでしょうか

### ライフアウト

大学卒業後に大手企業に就職し、10回以上の転職を経て、定年退職後の再雇用期間を満了した岡崎さん。41年間の**会社人生を動機上げたことを誇りに思っています**。妻とは会社のサークルで知り合い、30歳の時に結婚。長女、長男の4人家族で、子供は同居しています。

### 時間的資源

完全リタイア後は、毎朝6時に起床し、**血圧測定後に日課のウォーキング**に出かけます。**折り返し地点でストレッチ**、カメラを持参して**帰路の公園でカワセミの観察と撮影**をするのが楽しみです。日中は、テイトしをしながら資産を運用していますが、日々喜ばせずも少し長い目で株価を眺めながらのんびりと暮らせる方法を考え中です。

### 健康資源

腰痛や手首、膝の痛みがありますが、**ゴマカシゴマカシで毎日を送っています**。毎年何回か大好きな登山に行くのですが、昨年は痛みが悪化しないよう見送りました。食事面では、**免疫機能の向上のためにヨーグルトは欠かせません**。野菜・果物も多く摂るように心がけていますが、メタボからの脱却が課題です。

### 友人等資源

趣味の合唱団仲間や学生時代のクラスメートとは、時々飲み会を楽しんでいます。連絡手段はメールが殆どです。**地域との交流はごあいさつ程度で、特にありません**。

### 家族資源

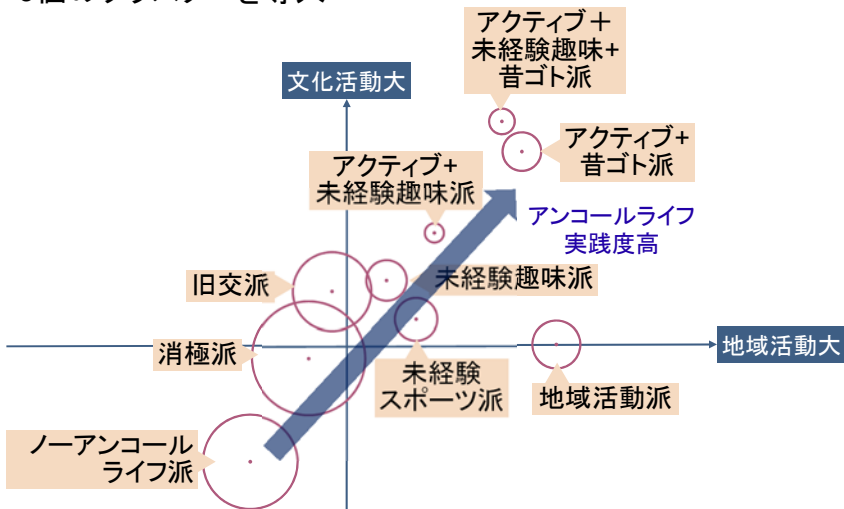
夫婦の両親は共に既に他界しています。妻とは何でも話しています。**家事の分担も行っています**し、旅行や映画、買い物から食事まで、ほとんど一緒に過ごしています。**どこへ行くにも何をやるにも一緒**といった感じですが、娘とも仲が良いのですが、「結婚」の話を持ち出すと会話が途切れてしまいます。息子とはあまり会話がありません。二人には**早く親離れをしてもらいたい**と思っています。

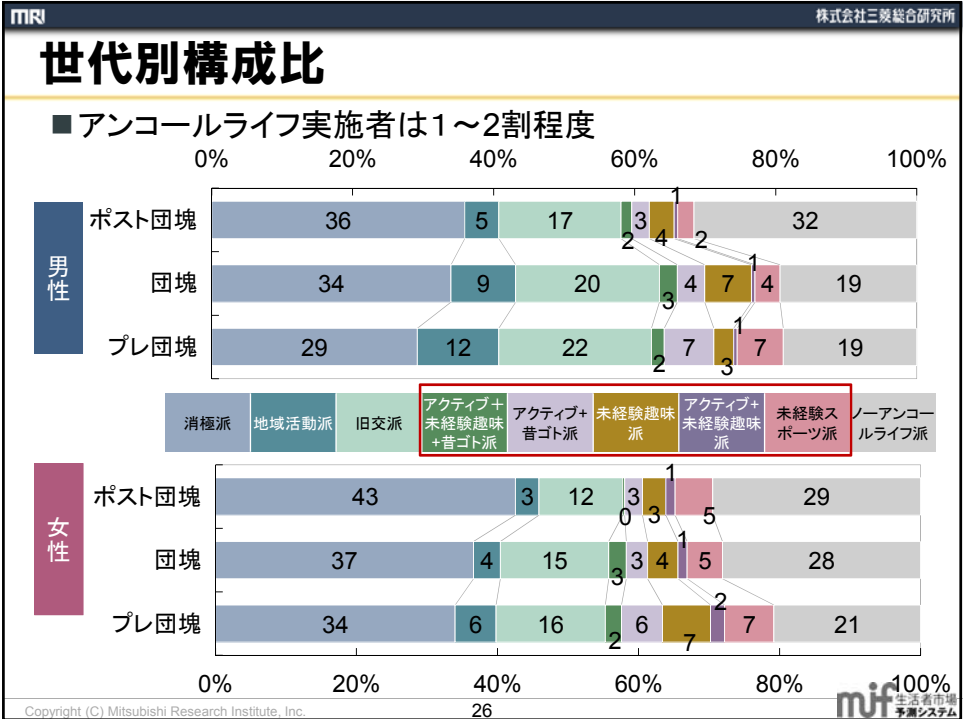
### ライフゴール

孫の顔を見たいのですが・・・夢というかあきらめというか。**心の拠り所になっているのは「妻」**。やはり長年寄り添って暮らしてきた仲。**言うなれば「愛」といったところでしょうか**。子供は頼りにならないし、頼る気もありません。静かに余生を送ることがいいと思っています。終活も視野に入れています。**邪魔にならず、邪魔されず、ボケないで健康でありたい**と考えています。周りからは「普通の人」と思ってもらえたらそれでよく、**昨日と同じ今日、今日と同じ明日**でありたいと思っています。そのために、日課の早朝ウォーキングをこれからも継続していこうと思っている岡崎さんです。

# アンコールライフクラスターの導入

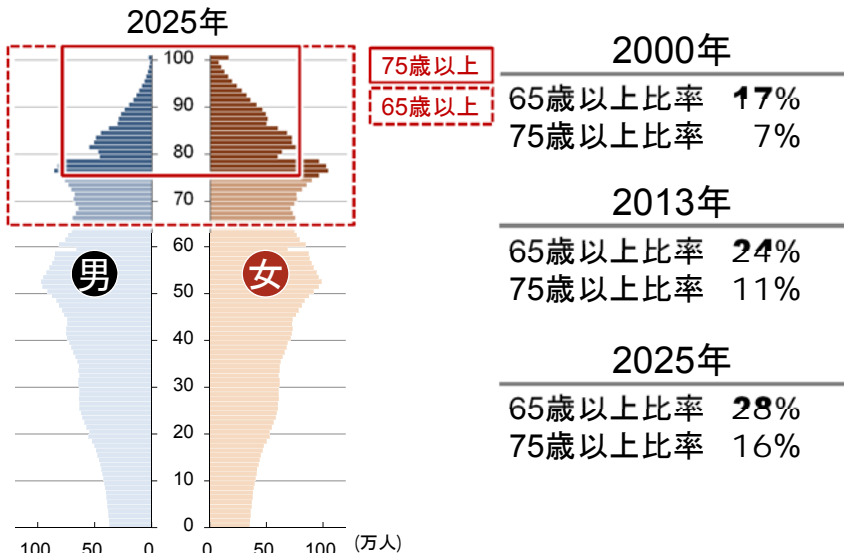
## ■ 9個のクラスターを導入





# 2025年 団塊世代の生活は どうなる？

## 進む国内人口の高齢化



出所：2000年は、国勢調査結果。2013年2025年は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」の中位推計

## つながり消費は消滅、拡大？

### 予想される社会経済環境変化

- 2040年日本の地方は消滅？
- 2025年もう兆しが出ているのでは？



### 団塊の生活インサイト

- 友人／近所の人と一緒につながっていたい
- いろいろと楽しみたい



### 今後の消費動向

- つながり消費は消滅？
- シェアハウスは拡大？

## コト消費は縮小、拡大？

### 予想される社会経済環境変化

- 2030年国内インフラはすべてセンサー、ロボット等を活用した高度で効率的な点検・補修を実施



### 団塊の生活インサイト

- とがった体験がしたい
- 安心／安全に過ごしたい



### 今後の消費動向

- 旅行機会の減少？
- 近居の増加？
- 四世代消費の拡大？
- 相続ビジネスの活性化？



## QOL向上消費の拡大？

### 予想される社会経済環境変化

- 介護ロボットの技術開発の進展、低コスト化



### 団塊の生活インサイト

- 健康で、人生を楽しみたい
- 迷惑をかけたくない



### 今後の消費動向

- QOL向上消費増加？
- 保険商品の拡大？

# 団塊世代消費研究会 2014のご紹介

## 研究会の進め方

### 研究会開催趣旨

- 団塊世代が後期高齢者を迎える2025年までの激変する社会経済環境の変化を視野にいれ、団塊及びポスト団塊世代消費のビジネスチャンス进行明らかにするとともに、そのチャンスを現状ビジネスにどのように結びつけるかを読み解く。
- このインサイトに対して、現在何をすれば良いか検討する。

### 研究会の特徴

#### 昨年度の成果であるアンコールライフ消費の知見活用

- 団塊世代の現状における消費インサイトを活用する。

#### シナリオ分析手法の考え方を適用

- 2020、2025年団塊/ポスト団塊世代消費影響インサイトをシナリオ分析手法を用いて検討する。

#### mif、MROCの有効活用

- 現状の意向、および今後の対応策等ベースとなるデータソースとしてmif、MROC(プラチナ世代コミュニティ)を活用する。

## 研究会の内容

### ■ 研究会における検討項目

団塊世代消費のキー  
ファクター分析

これからの団塊世代消費に重要な影響を及ぼす  
要因を整理

ドライビングフォースの  
整理

キーファクタに影響を及ぼす社会経済環境の変化  
要因を抽出するとともに、影響度、確実性を整理

注目セグメントの抽出

昨年度研究成果やライフコース視点を取り入れ、  
注目セグメントを抽出(団塊世代、ポスト団塊世代)

注目セグメントにおける  
ソリューション検討

現状に立ち返り、注目セグメントにおけるビジネス  
チャンスをどのように具現化するか、ソリューション  
を検討

## 研究会の成果

### 研究会開催趣旨

ワークショップにおける成果以外に下記をデータ集として用意

- 2025年の日本の社会経済環境データ集(社会経済環境編)
- 団塊世代生活シーン／意識に関するデータ集(生活編)

※ ワークショップの議論に加えて、これらのデータ集を用いることにより、  
貴社独自の戦略検討を行うことが可能となります。

## 体制とスケジュール

### ■ 体制

- 座長：学習院大学経済学部 青木幸弘教授
- 運営主体・事務局：株式会社三菱総合研究所

### ■ スケジュール

- 第1回研究会：2014年12月19日
- 第2回研究会：2015年1月21日
- 第3回研究会：2015年2月20日
- 第4回研究会：2015年3月12日
- 第5回研究会：2015年3月31日

(第5回研究会は最終報告会を予定しています。)

## 研究会参加費用とオプションサービス

■ 研究会参加費用 … 2名様まで30万円

■ 研究会会員用オプションサービス

① 会員用mifアンケートパネルサービス

… 単年度データ15万円、経年データ25万円

- 研究会期間内(お申し込み後、2015年3月末まで)、mifアンケートパネルサービスをご利用できます。

② 会員用MROCパネルサービス

… 1ID 10万円

- 研究会期間内(お申し込み後、2015年3月末まで)、常設型MROC「プラチナ世代コミュニティ」をご利用できます。
- 研究会期間中は、研究会テーマに関連した掲示板も立てる予定です。

※別途、消費税がかかります。

## 申し込み方法

- 本日お配りしました申込書にご記入のうえ、FAXいただくか、PDF添付ファイルで [mif@mri.co.jp](mailto:mif@mri.co.jp) へお送りください。
- <https://mif.mri.co.jp> のサイトの「お問い合わせ」から、団塊世代消費研究会にお申込みの旨を、申し込み会員区分とあわせてお知らせください。

(ご参考)2025年の日本の社会経済環境データ集(項目案)

| 項目    | テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国際情勢  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日米欧の経済的衰退</li> <li>アジアの更なる台頭</li> <li>世界人口の増加</li> <li>世界的な都市部人口の増加</li> <li>外国人留学生・日本人留学生の増加</li> </ul>                                                                                                                                                               |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少社会</li> <li>高齢者人口動向</li> <li>高齢者世帯動向</li> <li>65歳以上世帯の構造変化</li> <li>都市部の高齢化進展</li> <li>都市部への人口集中</li> </ul>                                                                                                                                                        |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>経済成長率の停滞</li> <li>サービス産業の比率上昇</li> <li>財政逼迫</li> <li>ロボット市場の拡大</li> <li>訪日外国人観光客の増加</li> <li>農業再生</li> <li>EC市場の更なる拡大</li> <li>終活ビジネス市場の活性化</li> <li>コンビニの多機能化</li> <li>高齢者のコンビニ利用増加</li> <li>宅配ビジネスの拡大</li> <li>リノベーション、リフォームビジネス拡大</li> <li>シェアハウスビジネスの拡大</li> </ul> |
| 政策・規制 | <ul style="list-style-type: none"> <li>消費税の増税</li> <li>相続税の増税</li> <li>親から子・孫世代への資産移転増大</li> <li>法人税の引き下げ</li> <li>地方分権の拡大</li> </ul>                                                                                                                                                                         |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>ネット利用率の増加</li> <li>ネットシニアの増加</li> <li>8Kテレビ・スマートテレビの普及</li> <li>ウェアラブル端末市場の規模拡大</li> </ul>                                                                                                                                                                             |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療・介護の給付費が急激に増加</li> <li>介護向けロボット市場の拡大</li> <li>ips細胞を活用した再生医療・創薬の実現</li> </ul>                                                                                                                                                                                        |

| 項目          | テーマ                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 交通<br>インフラ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>超小型モビリティの普及</li> <li>安全運転支援装置・システムの全面普及</li> <li>ネットワーク(高速道路)による都市圏の変化</li> </ul>                                                                                                                                       |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトシティの推進</li> <li>スマートシティの推進</li> <li>地方財政悪化によるインフラ整備の停滞</li> <li>地方消滅の未来</li> <li>ロボットを活用したインフラメンテナンスの実現</li> </ul>                                                                                                 |
| エネルギー       | <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの普及拡大</li> <li>太陽光発電システムの導入増加</li> </ul>                                                                                                                                                                       |
| 雇用制度・<br>環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「多様な正社員」の普及</li> <li>就業率の向上</li> <li>減らないニート、孤立無業(SNEP)</li> <li>転職入職率の活性化</li> <li>外国人労働者の増加</li> <li>高齢者の就業率の増加</li> <li>介護による雇用の創出</li> </ul>                                                                        |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>女性の就業率向上</li> <li>指導的地位に占める女性割合の増加</li> <li>男性の育児休業取得率増加</li> <li>在宅型テレワーカーの増加</li> </ul>                                                                                                                               |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピックによる雇用創出</li> <li>東京の都市基盤の充実</li> <li>東京の世界レベルでの地位向上</li> <li>オリンピックの経済波及効果</li> </ul>                                                                                                                             |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命の延伸</li> <li>医療費の増加</li> <li>介護費の増加</li> <li>社会保障費の拡大</li> <li>地域包括ケアシステムの構築</li> <li>認知症高齢者の増大</li> <li>国民年金納付期間の延長</li> <li>厚生年金支給開始年齢の引上げ</li> <li>地方病床数の過剰</li> <li>介護人材の確保と処遇改善</li> <li>高齢者向け住宅の増加</li> </ul> |